

質問の件名及び質問の要旨(質問時間)	答弁を求める者
<p>1 耕作放棄地の再生について (15分)</p> <p>近年、耕作放棄地(1年以上作付けされず、今後耕作される見通しのない農地)の増加が深刻化しています。農水省では、農業主体者への支援を拡充させ、耕作放棄地の早期解消を図るために、平成21年度から5年計画で「耕作放棄地再生利用緊急対策」事業を展開していますが、明年3月で本事業実施期間が終了してしまうことから、耕作放棄地再生利用対策の積極的な利活用を図るよう提案しています。</p> <p>耕作放棄地は、病虫害の発生源、アライグマなどの有害鳥獣のすみか、廃棄物の不法投棄の誘発など、農業生産への支障をきたすだけでなく、農村景観に様々な悪影響を及ぼしてまいります。</p> <p>地域住民の生活環境を守り、農業生産の基盤である農地を確保するためには、荒廃した農地の再生利用を加速させることが重要です。</p> <p>耕作放棄地の最も大きな発生要因は、農業者の高齢化の進行と後継者の不在、農作物価格の低迷などで営業が続けられなくなっていることです。</p> <p>農水省によると、今後5年で現在250万人いる農家のうち70万人以上が引退する見込みとなっており、高齢農家の農地をいかに意欲ある若い農家や農業生産法人に継いでいくかが最大の課題となっています。</p> <p>このことから以下の質問をいたします。</p> <p>(1) これまでの取り組み状況と今後の課題について</p> <p>(2) 支援体制について</p> <p>(3) 「攻めの農林水産業」についての市の見解</p> <p>2 商店街と地域の活性化に関する取り組みについて (15分)</p> <p>政府の大胆な金融緩和策などにより、株価の上昇をはじめとする景気浮揚の“兆し”が見え始めています。デフレ脱却などが期待されるなか、「経済再生」へ次に取り組むべき段階は、それらの効果を実体経済の改善につなげることです。そのためには、賃金上昇や雇用拡大などの成果が実感できるよう、各地域が行う地元の活性化策が重要な取り組みになるといえます。</p>	<p>市長 農業委員会会長</p>

質問の件名及び質問の要旨 (質問時間)	答弁を求める者
<p>中小企業庁の平成21年度調査によると、商店街の空き店舗数の平均は1商店街当たり5～6店であり、空き店舗率が10.82%に達しており、15年度調査以降から増加傾向となっています。</p> <p>商店街の活性化は、地域経済の取り組みとして不可欠であり、街づくりの中心となります。今後の商店街・地域活性化策への積極的な推進をお願いして以下の質問をいたします。</p> <p>(1) 市の現状と対策について (2) 今後の取り組みについて</p>	市長